

地震調査研究推進本部政策委員会 第37回調査観測計画部会議事要旨

1. 日時 平成15年6月5日(木) 10時30分～13時00分

2. 場所 文部科学省別館(日本郵政公社) 10階 第5&6会議室
東京都千代田区霞が関1-3-2

3. 議題

- 1) 東南海・南海地震を対象とした調査観測の強化について
- 2) 高感度・広帯域地震計及びGPS連続観測点の整備状況について
- 3) その他

4. 配付資料

- 資料 計37-(1)地震調査研究推進本部政策委員会第36回調査観測計画部会議事要旨(案)
- 資料 計37-(2)東南海・南海地震を対象とした調査観測の強化に関する計画(第一次報告)(案)
- 資料 計37-(3)「東南海・南海地震に関する調査研究-予測精度向上のための観測研究-」の調査研究計画(案)
- 資料 計37-(4)高感度・広帯域地震計の整備状況について(防災科学技術研究所)
- 資料 計37-(5)電子基準点の整備状況(国土地理院)

5. 出席者

部会長	長谷川 昭	東北大学大学院理学研究科教授
委員	安藤 雅孝	名古屋大学大学院環境学研究科教授
	石井 紘	(財)地震予知総合研究振興会東濃地震科学研究所副首席主任研究員
	大志万 直人	京都大学防災研究所教授
	岡田 義光	独立行政法人防災科学技術研究所企画部長
	笠原 稔	北海道大学大学院理学研究科教授
	金沢 敏彦	東京大学地震研究所教授
	金田 義行	海洋科学技術センター固体地球統合フロンティア研究システム プレート挙動解析研究領域領域長
	工藤 一嘉	東京大学地震研究所助教授
	熊木 洋太	国土地理院測地観測センター長
	佐々木 稔	海上保安庁海洋情報部技術・国際課長
	佐藤 比呂志	東京大学地震研究所助教授
	杉山 雄一	独立行政法人産業技術総合研究所活断層研究センター副センター長
	竹内 昌明	気象庁地震火山部管理課長
	平田 直	東京大学地震研究所教授

地震調査委員会

阿部 勝征 東京大学地震研究所教授(地震調査委員会委員長代理)

津村 建四朗 (財)日本気象協会顧問(地震調査委員会委員長)

オブザーバ

近藤 史郎 消防庁防災課震災対策係長

中林 賢司 経済産業省知的基盤課課長補佐

笠原 敬司 独立行政法人防災科学技術研究所防災研究情報センター

堀 貞喜 独立行政法人防災科学技術研究所固体地球研究部門主任研究員

小寺 透 海洋科学技術センター企画部企画課

事務局	岡島 達男	国土交通省港湾局海岸防災課災害対策室係長
	佐々木興四夫	国土地理院測地部測地技術調整官
	宇平 幸一	気象庁地震火山部管理課地震情報企画官
	中澤 博志	気象庁地震火山部管理課係長
	長屋 好治	海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官
	磯谷 桂介	文部科学省研究開発局地震・防災研究課長
	岡本 拓也	文部科学省研究開発局地震・防災研究課課長補佐
	田中 宏明	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査官
	青木 重樹	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査官
	二瓶 稔之 梅田 祐介	文部科学省研究開発局地震・防災研究課

6. 議事要旨

- (1) 前回議事要旨(案)について意見がある場合は、後日、事務局に連絡することとなった。
- (2) 東南海・南海地震を対象とした調査観測の強化について
 - ・ 「東南海・南海地震を対象とした調査観測の強化に関する計画(第一次報告)」(案)について審議し、これを部会の報告書とすることとした。また、部会以後の事実関係の修正については、部会長に一任することとなった。
 - ・ 文部科学省が今年度から5ヵ年計画で実施する東南海・南海地震に関する調査研究の計画案について、その実施機関となる東京大学地震研究所、東北大学大学院理学研究科、名古屋大学大学院環境学研究科、海洋科学技術センターを代表して、金沢委員から、資料計37-(3)に基づき、説明があった。
- (3) 高感度・広帯域地震計及びGPS連続観測点の整備状況について

平成14年度予算、平成14年度補正予算、平成15年度予算において措置された高感度・広帯域地震計及びGPS連続観測点の整備状況について、資料計37-(4)及び(5)に基づき、防災科学技術研究所と国土地理院から報告がなされた。